

# しんにちは つるおか

No. 93

## 女性の発想力は面白いですよ

しらかわ とうこ  
白河 桃子 さん

少子化ジャーナリスト。作家。山田昌弘氏（中央大学教授）とともに「婚活」を提唱し婚活ブームを起こす。『妊活バイブル』『女子と就活』『婚活症候群』『格付けしあう女たち 女子カーストの実態』など著書多数。つるおか婚活支援ネットワーク講演会の講師として来鶴。東京都出身。



鶴岡に来たのは二回目です。鶴岡は、海あり山ありで自然資源が豊富な所だという印象です。

私は、婚活や妊活など“女性”をキーワードとした活動をしています。女性は取材をしている面白いですよ。自分を客観的に見ている人が多いし表現力もある。これまでの社会というのは、男性を中心に作られてきたところがどうしてもありますよね。女性は、いずれ嫁に行く人ということで、なかなか家業の中の人として育てられない。私が書いた『跡取り娘の経営学』という本は、突然家業を継ぐことになった跡取り娘が、傾きかけていた家業を再生するというお話です。新しい視点で物事を見たり、それまでなかったものを生み出したりする女性の発想力は本当に面白いですし、女性には改革者の資質があると思いますね。



少子化問題を考えるとき、仕事も結婚も出

産も子育ても、ばらばらに考えないで、女性一人の人生の上に全部乗っているものと考えた方がいいと思っています。今、政府では、切れ目のない支援ということで少子化対策を打ち出しています。女性が活躍できる環境作りも少子化対策の一環であるという形になってきて、とても良かったと思っています。でも、まだ地方では「嫁に行ったら仕事はセーブするもの」というような考え方があるのではないのでしょうか。これは本当にパワーの無駄遣いで、逆に子育てしながら無理なく働ける環境があれば、女性はいくらでもパワーを発揮できるのです。

女性の活躍と地域活性は通底しているので、地域を元気にすることが重要だと思っています。地方の良いところの一つは地域力。都会では余り見られなくなった地域のコミュニティやネットワークがあるということが一番の強みだと思います。それも一度壊してしまうとなかなか得られない力なので、ぜひこれからも大切に生かしてほしいと思います。

講演会の様子（3月21日/グランドエル・サン）

「提言はがき」  
平成18年から実施し毎年100通以上の意見・要望・提言等が寄せられています。このハガキに皆

**A** 「提言はがき」や「車座ミーティング」をご利用ください  
市では、市民の皆さんの意見や提言を市政に反映させるため広聴事業を行っています。具体的には、市内の公共施設（市役所、公民館・コミュニティセンター等）に配置している「提言はがき」や「市ホームページ」で意見・提言を受け付けています。また、団体やグループを対象に、市長と直接意見交換を行う「市長と語ろう！」「車座ミーティング」を実施しています。

**Q** 市民の意見や提言を届けるには  
市役所の仕事や市のまちづくりについて、多くの市民がいろいろな意見を持っていると思います。意見や提言などは、どのように伝えればよいでしょうか。

# 声

voice

市への意見や質問、広報を読んでの感想などをお寄せください。  
◎送り先 本所総務課  
☎ 25 - 2111 内線 316

# スクールライフ!

鶴岡市にある 10 校の高等学校と高等専門学校。  
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

## No. 1 あいさつ運動／鶴岡工業高校（生徒会）



[学校概要] ○創立…大正9年(工業高校として) ○学科…機械・生産・電気電子・情報通信・建築・環境システム科(全日制)、工業技術科(定時制) ○校訓…「誠実勤労」「質実剛健」 ○生徒は専門的な研究活動やものづくりをとおして充実した学校生活を送る。卒業後も各学科の特徴を生かし様々な分野で活躍



### ■ 紹介者 [写真左から]

- 生徒会副会長 / 佐藤祿平さん (電気電子システム科3年生)
- 生徒会長 / 小林健俊さん (生産システム科3年生)
- 生徒会副会長 / 太田佑貴さん (機械システム科3年生)

私たちの高校では「あいさつ運動」を実施しています。遅刻防止はもちろん、挨拶で学校全体が活気づくことが目的です。今年度最初は、4月8日～11日に生徒会理事会26人が生徒昇降口前に並んで実施します。これまで学校生活を送ってきた中で感じるのは、『鶴工』は挨拶がきちんとできる学校だということ。ふだんからみんなが自然と挨拶を交わしています。8日は入学式が行われるので、そういう印象を新入生にも感じてもらいたいですね。そして、9日の対面式を楽しんでもらい、緊張を和らげてくれたらうれしいです。

2回目の運動を5月下旬から、3回目を10月上旬からそれぞれ約1か月半実施します。これらは各委員会・部活動等が日替わりで担当。ほぼ全校生徒が参加します。全校生徒参加型は昨年度に

始めたのですが、「自分たちの学校の取り組みとして、全員でやっていこう」という気持ちが生徒の間に生まれつつあります。全員で取り組むことによって、よい雰囲気づくりにつながっていますし、私たちもその明るい雰囲気が好きですね。鶴工の伝統として続けていければと思います。

「無限の可能性」をスローガンに、これから1年間、生徒会は様々な活動をしていきます。意見しやすいように「目安箱」を設置しているのですが、できるだけ多くの声を取り入れていきたいです。また、6学科で開催する学校祭は今年が最後。生徒も地域の方も楽しめるものになりたいと気合が入っています。学校生活は生徒会だけで成り立つものではないので、全校生徒で「より良い鶴工」をつくり上げていきたいと思っています。



あいさつ運動 (4月8日～11日)



対面式・部活動紹介 (4月9日)

さんの声を記入し、郵便ポストに投函してください(切手不要)。頂いた意見等は担当課に回付し、回答文を差出人にお送りします。

### 「市ホームページ」

市ホームページのトップページ左側にある「ご意見・ご提言」アイコンをクリックすると、投稿フォームが表示されます。意見と必要事項を入力し「入力終了」をクリックしてください。「提言はがき」と同様に、頂いた内容は担当課に回付し、後日、回答を電子メールで返信します。

※差出人の住所や氏名、電子メールアドレスがわからないため返答できないものが見受けられます。回答をご希望の方は、今一度確認をお願いします。

### 「車座ミーティング」

市内で活動する団体などが抱える課題や問題について、市長と直接意見交換を行うことで、市政と市民の意思疎通を図ることを目的に行っています。おおむね5人以上のグループでお申し込みください。開催は月3回程度で、1回2時間までとしています。

開催を希望する場合は、開催希望票の提出が必要です。詳しくは市ホームページ「総務課」をご覧ください。

〈本所総務課〉